

に収まったように過去薬歴と指導内容を確認

時系列での患者情報確認

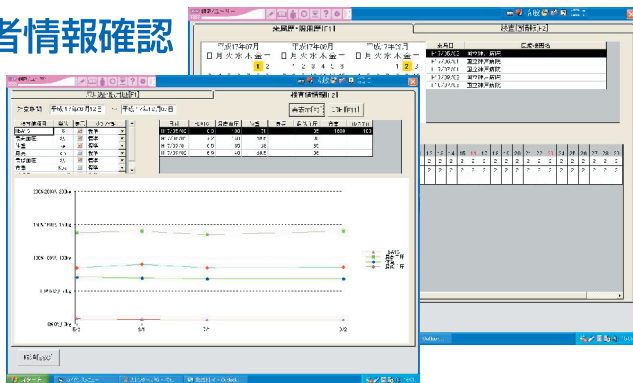
対話型の服薬指導

●来局歴・服用歴

カレンダー形式での来局履歴を表示します。

●検査値情報

体重・血圧・検査値等の変化をグラフ形式で表示します。またお薬手帳用として印刷することが可能です。



オプションプログラム

●服薬マネジメント

薬剤師さんが患者さんに服薬指導をする上で、患者さんの訴えから何を考えどう行動すべきかを示した服薬指導の実践書籍です。

薬効群ごとに、薬剤についての情報を記載する欄と、患者さんの訴えからすべき情報対応策を記載した「服薬マネジメント」欄があります。

薬剤についての情報欄には、薬剤ごとに特に注意すべき副作用・薬剤の作用・その薬剤が使われる疾患についての情報などを盛り込んでいます。

服薬マネジメント欄では、薬剤が患者さんに有効かどうかを検討するための内容と、薬剤によって副作用が生じていないかを検討するための内容に分かれ、SOAP実践の書籍とも言えます。

※監修

「服薬マネジメント虎の巻上下巻」

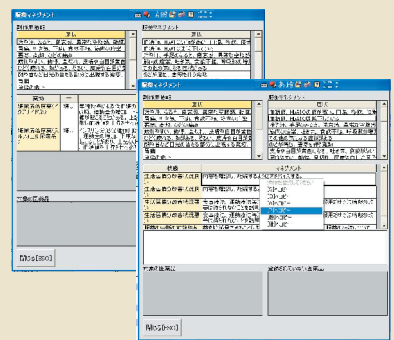
日経ドラッグインフォメーション編

堀 美智子(医薬情報研究所/株式会社エス・アイ・シー)監修

処方薬から考えられる患者さんの症状「S：患者さんからの情報の候補(訴え)」を一覧で表示します。

副作用情報欄の症状を選択すると薬効と十文字記号及び副作用情報の詳細を表示します。

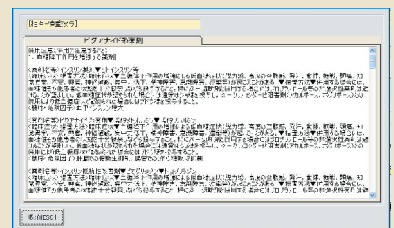
副作用情報欄の症状を選択すると薬効と十文字記号及び副作用情報の詳細を表示します。



●「I-Data」

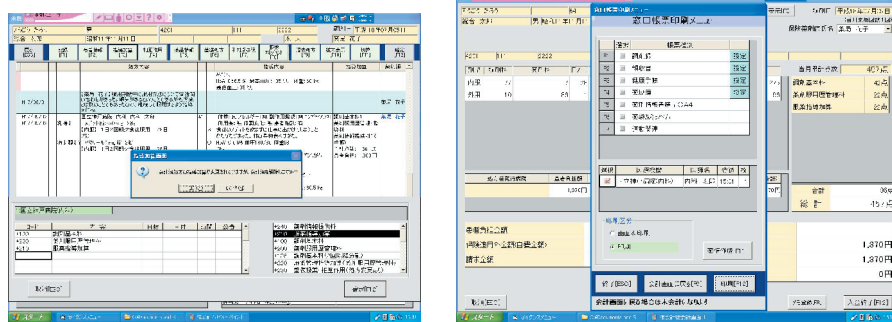
併用禁忌・慎重投与などチェックのなかった内容の詳細情報を確認することができます。(財)医療情報システム開発センターの医薬品添付文書データベースです。

製造元：インフォコム株式会社



後会計

十分な服薬支援を行った後は指導加算を算定できるようになっております。算定した情報はレセコン側の調剤くん.comに送られ、薬歴くん端末からも指導加算算定後の会計処理や調剤録・領収書など帳票類の印刷が行えます。



記録

指導内容の記録を簡単且つ適確に

●モニタリング項目やプロブレム項目

をチェック式でワンタッチ記録

●SOAP形式で記録

●テンプレート機能

●疑義照会テンプレート

●次回引継ぎ事項の記録

「服薬マネジメント」による指導業務の強力なサポートを

「服薬マネジメント」情報を活用することで、患者さんへの服薬指導業務と薬歴への記録業務を強力にサポート

処方チェック

飲み合わせのチェック、処方チェックを行った結果を表示

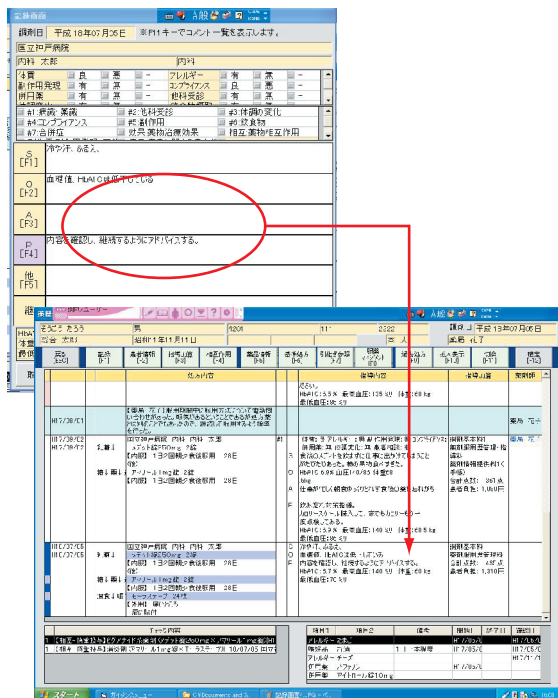
●重複投与チェック

●相互作用チェック

●適量オーバーチェック

●長期投与チェック

●薬歴項目チェック



用語説明

十文字情報(十文字革命)

副作用や相互作用情報、重要な情報を記号化し薬歴上で一覧表示し服薬指導の質を高めるための取り組みです。

例 圧↓：血圧低下

頭：頭痛など

参照した情報は簡単操作で薬歴に記載することが可能です。

SOAP形式

S：subjectivedata：主観的情報(患者さんや家族から得られた情報・訴えなど)

O：objectivedata：客観的情報(薬剤師さんの観察所見・DM手帳などからの検査値情報など)

A：assessment：評価、判断、考察(SとOの情報の分析・評価、薬剤師さんが感じたこと)

P：plan：計画(Aに基づき問題解決のための計画)